

筑波大学バナメイプロジェクト（白エビ）・8月開始 世界初～コエンザイム Q10 入り飼料を採用

日本におけるバナメイ養殖に関しては、1999年 JIFAS がドイツ MEGA FISCH 社を招請して開催された「陸上養殖技術セミナー」に端を発し、事業化されました。当初から本事業に着手した（株）アイ・エム・ティー社は現在もこの事業を継続している同社は、バナメイ養殖に関しては日本一であり、世界のトップクラスの技術を所有しています。

今般、筑波大学（担当者：筑波大学生命環境系・食機能探査科学研究室・宮崎均教授）で開始される実験は「食素材機能性成分による養殖エビのストレス改善作用に関する研究」

であり、コエンザイム Q10 による養殖エビのストレス改善作用に関する効果が期待される。

アイ・エム・ティーの指導も受けながら、望月博士（前サバ大学准教授）がアドバイザーとして参画することが決定されています。

その内容は、酸化ストレスや抗酸化酵素活性測定などが行われる。

ご案内の通り、バナメイに関しては関係者の努力により循環式陸上養殖技術は完成の領域に達していますが、本プロジェクトの成果を加味して、更に世界のトップレベルになることを目指しています。この成果は、シャッター通りの再開発向け「小規模養殖システム」及び「中・大規模養殖システム」の発展に寄与することを確信しています。

